

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



がんばれニッポン！ 遠く離れたアフリカからも応援の声が寄せられています。

東日本大震災で被災された皆様へ

ブルキナファソで小学校を対象に進めている「衛生改善のための給水タンク設置プロジェクト」の協力者の方から、お見舞いの手紙が届きました。ご紹介致します。

日本の皆さま、私はブルキナファソの首都、ワガドゥグにあるブルミウグ学区で責任者を務めているサラム・ヤラと申します。3月11日に日本の東北地方を襲った大震災によって15,000名以上の方々がお亡くなりになり、多くの都市が壊滅的な被害を受けたことを、メディアを通じて知りました。

私ども教員、そして子供たちは皆、一様に大きな衝撃を受け、日本の皆さまが受けておられる苦しみを、まるで我が事のように受け止めています。全てのブルキナファソ国民が、日本の皆さまのお気持ちを慮っています。

皆さま、どうか元気を出して下さい。遠いアフリカより、皆さまが素晴らしい国、日本を再建する応援をしています。

ワガドゥグ市
ブルミウグ学区 監督官兼校長 サラム・ヤラ



現地の小学校からお見舞いのメッセージ



バム小学校の皆さん

親愛なる日本の皆さん、このたび皆さんがお受けになった大きな被害に対し、全ての教師と子供たち、保護者を代表して、お悔やみ申し上げます。

失われてしまった全ての思い出に哀悼の意を表すると共に、犠牲となった方々の魂が、安らかにお眠りになられますようお祈り致しております。本当に、もう二度とこのような悲劇は起きてほしくありません。

私たちは、今回被災された全ての方々の支えになりたいと、心から願っています。日本の皆さん、私たちの心は、いつも皆さんと共にあります。一緒に頑張りましょう。

コングシ市立バム小学校 校長 シビリ・ウエドラゴ

ブルキナファソの治安悪化

ブルキナファソでは最近、政治的な混乱が続いています。

3月、首都ワガドゥグにおいて、一部の兵士が待遇の改善を要求して、威嚇発砲や商店の破壊に及びました。この事件は、同じく待遇に不満を持つ地方の兵士にも飛び火し、いくつかの町で同様の事件が起きました。

これに対し、ブルキナファソ政府は軍幹部と対策を協議し、兵士の待遇改善と内閣人事の一部交代を約束しました。これによって事態は収拾に向かい、人々は平穏を取り戻しつつありますが、その後も一部で「約束」が履行されなかったことに対する示威行為が起きたこともあり、外務省では邦人の安全を最優先に考えて、邦人の国外への退避と渡航の延期を勧告しています。

これを受けて、現在、ほとんどの在留邦人が国外に退避し、事態を静観しています。一日も早い治安の回復が望まれますが、現地の協力者からは「町は平穏そのもので、ふだん通りの生活を送っている」との報告も届いており、「緑のサヘル」は明るい見通しを持っています。



平和と治安の回復を訴える女性たち



JICA 草の根技術協力事業

ロルガ村とタンギエマ村で、穀物の栽培地にディゲット（石で作った堤防）を設置しました。これで雨が降った時に表土が流れ、土地がやせるのをくい止めることができます。

2年目となる今年は、水の流れが強い場所に、石を通常の3倍以上も厚く敷き詰めるなど、村人たちが様々な工夫をこらしました。

また、今まで耕作地として使われていなかった場所にディゲットを敷いて、荒廃した土地をよみがえらす試みも進んでいます。



今年新しく設置したディゲット。

改良カマドの講習会



足で土をこねて粘土を作っている様子。

ヤルカ村で、改良カマドの普及プロジェクトが始まりました。このプロジェクトは村の女性たちの強いリクエストで実現しました。

粘土で作る改良カマドは、ブルキナファソの一般家庭で使われている石を3つ並べただけのカマドよりも燃焼効率が良く、薪の使用量を半分に減らすことも可能です。このため、女性たちの仕事である「薪集め」にかかる時間を大幅に短縮でき、地域の環境保全にもつながります。

2月に2日間かけて座学と実習からなる講習会が開かれ、今後各自がそれぞれの家に、講習会で習った改良カマドを設置することになっています。

講習会では皆たいへん意欲的で、和気藹々とした雰囲気の中、手際よく作業が進められていました。量が多くて重労働の粘土作りも、お母さんたちが赤ちゃんを背負いながら踊るように土をこねていて、とても楽しそうでした。



楽しそうにカマドを作る参加者たち。

タンザニアから



現地協力団体からお見舞いのメッセージ



歴史上類をみない大災害が日本を直撃したことについて、心よりお悔やみ申し上げます。

この大災害が日本の方々に及ぼした影響は、報道を通して私たちの目で見える部分だけに留まらないことと想像します。遠く日本から離れて暮らしている私たちは、この大災害から教訓を学ばなければなりません。

どうか皆さん、どんなに悲惨な境遇の中でも明日への希望を忘れないで下さい。あなた方に、神のたゆみないご加護がありますように。

REDESOS（社会開発支援）キボンド事務所 所長 ニニサエリ・グワマゴ

難民キャンプ協力事業の終了

（財）国際緑化推進センターとの協力事業として2007年に開始された「難民キャンプ周辺荒廃森林等保全・復旧事業」は、当初の計画を終えて2011年3月末をもって無事終了しました。本事業は、タンザニア北西部を中心にこれまで多数設置された難民キャンプ周辺地域の森林減少と環境の劣化に歯止めをかけるため、どのような活動や管理が有効であるかを調査・実証するために行なわれました。

この事業の活動内容とその成果は、ガイドラインとしてまとめられ、国際機関や民間企業、コミュニティなどが取り組む環境保全活動に役立てられることとなります。

チャドから



大統領選挙が行なわれました。

4月25日、チャドで大統領選挙が行なわれました。大統領の任期は5年なので、2006年以来になります。当初は4月3日に予定されていましたが、野党が選挙管理委員会のメンバー選出や有権者登録など、選挙の適正さに関して異議を唱えていたことから、延期になっていました。

投票結果は、イドリス・デビ候補（現職）が88%を超えて得票し、4期目の任期が始まりました。しかし、予定されていた野党からの立候補者5名のうち3名が大統領選挙をボイコットし、立候補を取り消しました。したがって、実際には3名で争われたことになり、投票者が望む候補者が含まれていたのか疑問です。

選挙後の混乱はよくあることなので、今後の推移に注意したいと思います。

国内活動



東日本大震災に寄せて

緑のサヘル事務局長 菅川拓也（岩手県出身）

3月11日午後、突然襲った巨大な地震と津波によって、東日本はかつてないほどの大きな被害と犠牲者を出すに至りました。その全容は2か月以上を経た現在も尚、明らかになっていません。

私の親類・知人の中にも、被災した方は少なくなく、残念ながら津波の犠牲になられた方や、避難所生活を強いられている方もいます。また、毎年のように講演で訪れていた三陸の町並みが消え、瓦礫の原と化してしまった光景や、子供たちにアフリカの話をした体育館が避難所になっている光景が、悲しみを募らせています。

もちろん、このたび被災地の皆さまが負われた傷の深さには及ぶべくもありませんが、それでもせめてその悲しみ的一端だけでも共有させていただき、これからの復興に向けて、共に歩ませていただければと考えています。

< 東京事務局での主な活動一覧 >

今期は年度の変わり目ということで、様々な会合が催されました。しかし震災以降は、毎年この時期の開催されていた「アフリカン・フェスタ」を始めとする、多くのイベント、会合が延期や中止となりました。

1月27日(木)	「世界食糧デー」ミーティング	出席	(岡本)
2月7日(月)	東京都板橋区立 向原中学校 (3年生 54名)	講演	(岡本)
8日(火)	チャリティ☆ナイト 「国際結婚の実際～アフリカ女性との結婚～」	講師	(町)
16日(水)	JICA 草の根協力事業モニタリング会合 (主催：国際協力機構)	出席	(岡本)
24日(木)	「世界食糧デー」ミーティング	出席	(岡本)
3月4日(金)	大阪府寝屋川市立 梅が丘小学校 (6年生 49名)	講演	(岡本)
8日(火)	チャリティ☆ナイト 「女性写真家がみた元紛争地帯に生きる女性たち」	共催	
18日(金)	「貧困削減のための森づくり」検討委員会 (主催：海外林業コンサルツ協会)	出席	(岡本)
23日(水)	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究 研究科 大学院教育改革支援プログラム (教授・院生 40名)	講演	(町)
4月12日(火)	チャリティ☆ナイト 「『紛争地』スーダンの素顔と教育事情」	共催	
21日(木)	「世界食糧デー」ミーティング	出席	(岡本)
26日(火)	「飢餓削減のためのネットワーク」運営委員会 (主催：ゼロ・ハンガー・ネットワーク)	出席	(岡本)



1996 年に開催された世界食料サミットで、「2015 年までに世界の飢餓人口を半減させる」ことが、日本を含めた 185 の参加国の間で約束されました。それ以来、各国でさまざまな取り組みが行なわれてきましたが、残念ながら今なお飢えに苦しんでいる方は、世界中で 9 億 2500 万人もいます。

今年、日本でも世界から飢えと栄養不足をなくすることを目的に、NGO/NPO や一般企業、法人団体、国際機関などが力をあわせ、情報発信と具体的な行動を起こすためのネットワークが出来ました。このネットワークは、「全ての人々が安全でおいしいものを十分に食べられるようになるために何が出来るのか」をテーマに、国内と海外で活動を行なうもので、現在はブルキナファソにおいて、現地のネットワークと共同でプロジェクトを行なっています。「緑のサヘル」も、このネットワークに参加し、様々な協力を行なっています。詳しくは、右記のホームページをご覧ください。(http://zerohunger-jp.org/)

「世界食料デー」月間2011への参加

国連は、毎年 10 月 16 日を「世界食料デー」と定めています。日本では 2008 年より、国内や海外で食料問題に取り組んでいる NGO/NPO や法人、国際機関 8 団体が協力し、世界と日本で起こっている食料問題の現状を知り、考え、行動のきっかけになるようなイベントを行なっています。今年のイベントは 7 月から始まる予定になっており、イベントも計画されています。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

(http://www.worldfoodday-japan.net/)

お疲れ様でした！

2009 年 8 月より、実に 1 年 7 ヶ月もの間、インターンとして参加していた小川さんが、この春の大学卒業と共にインターンを修了することになりました。日々の勉学や部活動、アルバイトと多忙な学生生活を送る中で、長くインターンとして事務局のサポートをして下さった小川さん。本当にありがとうございました！



「緑のサヘルを通して見たこと、聞いたこと、学んだことは、今後私が何かを考える際に土台になっていくと思います。『アフリカ』に漠然と惹かれながらも、どこか遠かった私にとって、緑のサヘルでインターンとしてその活動に関わることができたことは、『アフリカ』をぐっと私に引き付け、近づけるものでした。今後も何らかの形で緑のサヘルの活動に関わりたいと願っています。今までお世話になり本当にありがとうございました。

小川 桂

ありがとうございました

* 敬称は略させて頂きました。

【 新規会員のみなさま 】

山田規矩子

【 継続会員のみなさま 】

猪股満希子／天野洋子／碓井道子／佐々木順子／豊島正幸／室井光子
佐藤京子／門村浩／河村ミヨ子／佐藤由規／藤巻晴行／大池良平／菅沼浩敏
澤井温子／田中ちえ子／綱島孝／村井智恵子／林裕之／大久保久美子

【 ご寄付を頂きました 】

手塚太郎／加藤正博／瀬戸義子／安生弘子／水島多衛子／江刺和広／古田努
小林伸張／米多喜久男／入江成子／小池昌子／碓井道子／井上茂／榎本みつ枝
田中ちえ子／鍋島／鈴木潤／黒河内康／梅田暢子／梅田秋子／山根貞夫／小林よしみ
今中富美子／安倍良／本木達也／村井智恵子／賀川麻衣／瀬戸進一／南部達夫
大阪信愛女学院小学校／青山学院大学経済学部ゼミナール連合／明晴学園秋富福引き
自然にいいこと、再出発。カンナカンナ 三浦潤／株式会社ベルモ 福井誠
カフェギャラリー&窯 ばおばぶ 堀越信代／株式会社リコー社会貢献クラブ
個別教育フォレスト安多秀司／有限会社オルト 梁好文／株式会社水戸京成百貨店
株式会社グローブエナジー／株式会社ノルコーポレーション企画部 粕谷茜

【 ハガキ・切手などを頂きました 】

高橋宣子／佐々木順平／江刺和広／米江律子

上記は 2011 年 2 月 1 日から 2011 年 4 月 30 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2011 年 5 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

(財)毎日新聞東京社会事業団／(独)国際協力機構(JICA)／(株)ユビキタスエナジー
(公財)イオン環境財団(環境活動助成)／(株)サティスファクトリー
(財)国際緑化推進センター／(財)農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校
アフロ・フレンチレストラン 神楽坂ドライブス／(特活)国際協力 NGO センター
(特活)環境アリーナ研究機構／(特活)ハンガー・フリー・ワールド
(財)地球・人間環境フォーラム／国際連合食糧農業機関(FAO)
(社)国際農林業協働協会／緑の募金(管理団体：(社)国土緑化推進機構)
igreen(管理団体:seap)／(社)日本経済団体連合会

画像を提供しました

- ◇株式会社カスミ：環境社会貢献活動 PR のためのポスター
- ◇株式会社東京書籍：中学校教科書 平成 24 年版「新しい社会 地理」
- ◇株式会社テーク・ワン：ケーブルテレビ K-CAT「技術立国日本！」
- ◇株式会社帝国書院：高等学校 新地理 A(仮称)
- ◇(公財)イオン環境財団：イオン環境財団 概要書
- ◇(社)国際農林業協働協会：季刊誌「世界の農林水産」(6月号)

おしらせ

東日本大震災 支援活動まとめて募金

「緑のサヘル」も参加しているNGOのネットワーク、「(特活)国際協力NGOセンター(JANIC)」には、96団体が正会員として加盟しています。このうち、国内外の緊急災害支援に高い専門性と実績を有する32団体が、現在被災地で救援活動を行っています。

JANICでは、東日本大震災で被災された方々を支援するため、「東日本大震災 支援活動まとめて募金」を開設しています。こちらへのご寄付は、被災地で活動が続いている32※団体に均等に振り分けられ、被災地のニーズに応じた迅速な人道支援に役立てられます。皆さまのご協力をお願い致します。

「東日本大震災 支援活動まとめて募金」の詳細情報は以下のURLからご覧になれます。
<http://www.janic.org/bokin/matomete/matomete14.php>
 (※2011年4月27日現在)

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 |
| 2・・・ブルキナファソから1 | 6・・・事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから2 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・タンザニア・チャドから | 8・・・お知らせ |

< 編集部より >

震災から3か月が過ぎようとしています。この間に、「緑のサヘル」の活動国であるブルキナファソ、チャド、タンザニアから多くのメッセージが東京事務局に寄せられました。

震災被害を案ずる声、犠牲となった方々を悼む声、そして復興へ向けての励ましの声—いずれのメッセージにも真心を感じ、感激せずにはいられませんでした。

今号では、そうしたメッセージのいくつかを掲載し、アフリカの方々の思いを皆さんにお届けいたしました。

ご贈答品・ご挨拶に
どうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなど、ハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表のとおりです。

大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】

郵便振替用紙に、ご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振込みください。
00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 北陸 南東北	信越 中部 北東北	関西	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420	
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020	
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	
D	アイス/ ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420	
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550	
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550	
G	カレー/ チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620	
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850	
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200	
J	チーズ/ ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350	

内容の詳細をご希望の方は、事務局までご連絡ください。詳細チラシをお送りいたします。

La Forêt, C'est la Vie !

Vol. 46

編集 菅川拓也 岡本敏樹 木藤絢乃 町慶彦 鈴木香織 吉川千尋/印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤三ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041